



特定非営利活動法人

南大阪地域大学コンソーシアム

ニュースレター

NO.7 2005 March

学生クラブ・アクト本格稼働で、いよいよ学生募集開始!

平成16年度に試験稼働していた「学生クラブ・アクト」が、今年の4月から本格的に活動を開始します。

学生クラブ・アクトとは、一言でいうと、学生参加型産官学地域連携事業です。企業、地域、学校、行政などから事業を受託し、学生が主体となり、場合によっては教員のサポートを受けながら、課題の解決に当たります。学生にとって実践的な社会体験ができること、他大学の学生と一緒に取り組むことができることがこの事業の面白みです。

今年度の実施例でいえば、「関西国際空港内ラウンジの内装に関する企画デザイン」では、大阪芸術大学の学生グループが、関西国際空港の展望ホール内ラウンジの内装デザインから家具の買い付けまで行いました。「新素材を活用した商品企画のアイデア・ラッシュ・ミーティング」では、デザインに興味のある帝塚山学院大学の学生と情報工学が専門の大阪府立大学大学院の学生グループが一緒に参加しました。企業もびっくりするほどのおもしろい企画が次々と飛び出し、そこで出たアイデアが、早ければ今夏にも商品化される予定です。実際の商品開発や販売戦略にも学生たちが参加しますので、どんな商品が売り出されるか楽しみにしてください。堺東駅前では、TMO（堺市の市街地活性化事業）の取り組みの一環として、12月からチャレンジ・ショップがオープンしています。そのショップの管理・運営を帝塚山学院大学の学生グループが担当していますが、いろい

ろな工夫を試みながらショップの支援をしています。まだ行ったことのない方は、一度ショップを訪れてみませんか。

桃山学院大学、大阪府立大学、大阪女子大学の茶道部の学生が参加してくれた「堺市大仙公園日本庭園内にある茶室での呈茶サービス」では、日本庭園を訪れる人たちに呈茶サービスを行い、大変喜んでいただきました。その他、調査研究では、プール学院大学、大阪女子大学が参加した「堺市リサイクルシステムの構築に関する調査研究」、羽衣国際大学が参加した「文化・観光資源活用業務（観光指標の作成）」、帝塚山学院大学が参加した「年長児と乳幼児の交流における相互の発達要因についての研究」などがあります。ボランティア活動では、大阪府立大学、桃山学院大学、羽衣国際大学、大阪明浄大学の21名の学生が、関西の二期工事内で実施されたマラソン大会で給水を手伝いました。当日は参加者が多く、大変な作業になったようです。

今春には、Web新聞「サカイ経済新聞」が創刊予定です。この新聞は、すでに刊行され多くの読者を集めている「シブヤ経済新聞」「ヨコハマ経済新聞」と同系列で、今春「ウメダ」「ナゴヤ」「キタキウシュウ」と同時リリースが予定されています。編集長を含め、編集スタッフは全員学生です。現在、編集者や運営スタッフを初め、取材記者を募集しています。南大阪地域大学コンソーシアムの学生のパワーをWeb新聞で大いに発揮しましょう!

学生クラブ・アクトでは、学生たちが企画・運営する「アクト交流会」(4ページ参照)があります。

このように、学生クラブ・アクト事業は、調査研究、企画、運営、管理、イベント、リサーチ、デザイン、商品開発の受託事業や、アクト交流会、アクトセミナーと多岐にわたっています。学生諸君の積極的な参加を待っています。会員登録はインターネットから (<http://www.osaka-unicon.org/clubact/nyuukai/nyuukai.html>)。

単位互換募集が4月より開始!

4月から単位互換の募集が始まります。今年は12大学・短期大学の学校が参加します。講座数も82講座と大幅に増え、一層多彩になりました。昨年度は155名の学生が参加しました。今年も興味深い講座がたくさんあります。自分の大学とは一味違った南大阪地域大学コンソーシアム会員大学の講座を受講してみませんか! 新たなキャン

今年は2校増えて12大学・短大の学生が他校で学ぶ

パスライフがきっとあなたを待っていることでしょう!!

単位互換のパンフレットは4月に各大学で配布予定です。

■参加校：大阪芸術大学、大阪女子短期大学、大阪府立大学、大谷女子大学、大谷女子大学短期大学部、関西福祉科学大学、帝塚山学院大学、羽衣国際大学、阪南大学、プール学院大学、プール学院大学短期大学部、桃山学院大学

会員大学クローズアップ

今回は、個人会員の所属大学をクローズアップします。

大阪千代田短期大学



〒586-8511 河内長野市小山田町1685
TEL: 0721-52-4141

伝統の幼児教育科（幼稚園教諭・保育士を養成）とユニークな総合コミュニケーション学科[ビジネス情報、こども文化、ケア（介護福祉士を養成）の各コース]からなります。専門性と教養性を統一した人間教育を目指しています。

大阪明浄大学



〒590-0493 大阪府泉南郡熊取町大久保南5-3-1 TEL: 0724-53-8222

日本で唯一の観光系単科大学として2000年4月に開学。キャンパスは世界中の人々が訪れ活気あふれる関西国際空港の近くという、絶好のロケーションにあり、「異文化への深い理解」と「おもてなしの心」を併せ持つ人材の養成をめざします。

大阪健康福祉短期大学



〒590-0014 大阪府堺市田出井町2-8
TEL: 072-226-6625

「選んだ諸君に後悔させない教育」をめざして、少人数の講義、演習、ゼミを教員とアットホームな雰囲気の中で、現場に役立つ介護福祉士を育成しています。就職決定率は100%。西日本で唯一の短大夜間部の介護福祉学科も設けています。

関西福祉科学大学



〒582-0026 大阪府柏原市旭ヶ丘3丁目11番1号 TEL: 0729-78-0088

建学の精神「感恩」の構造化・現代化としての福祉科学の集大成を目指す本学は、臨床福祉の諸分野のプロフェッショナルとして新しい日本の構築に貢献する夢に燃える学生諸君の希望に応えうる学園として前進し続けます。

会員参加大学

現在会員となっている大学です。

- | | | | | |
|----------|----------|-------------|--------------|--------|
| 大阪芸術大学 | 大阪府立看護大学 | 大谷女子大学短期大学部 | 羽衣学園短期大学 | 桃山学院大学 |
| 大阪女子大学 | 大阪府立大学 | 帝塚山学院大学 | ブール学院大学 | |
| 大阪女子短期大学 | 大谷女子大学 | 羽衣国際大学 | ブール学院大学短期大学部 | |

個人会員参加大学

- | | | | |
|------------|----------|---------|------|
| 大阪健康福祉短期大学 | 大阪明浄大学 | 近畿大学医学部 | 阪南大学 |
| 大阪千代田短期大学 | 関西福祉科学大学 | 太成学院大学 | |

理事会・総会が開催されました

3月16日、さかい新事業創造センターにて、平成16年度 第2回理事会・第5回総会が開催されました。議事の内容は以下の通りです。
○16年度事業概要報告

- 第1号議案 平成17年暫定事業計画（案）承認の件
- 第2号議案 平成17年度特定非営利活動に係わる暫定収支予算書（案）承認の件
- 第3号議案 議事録署名人の選任の件

連載 コラム⑦「語り継ぐ言葉」

大阪芸術大学放送学科 学科長 岩崎富士男

「書を読むこと。
礼節を重んじること。
生涯の友を持つこと。
—そして、
稼いでも金って奴はどこか卑しい・・・
ということを知っておくこと。」
子供のころよく居間に正座させられて祖父から聞かされた。
ふだん口数の少ない祖父だったが

これだけは毅然として繰り返していた。
また始まった・・・
と思ったが不思議とその口調が祖父の隣とした風貌に似合っていて別段嫌いではなかった。
いまわたしは祖父の歳を越えようとしている。
また始まった・・・
と思われてもいい、
若者に向かってこんな口調の似合う風貌になりたい。

堺市木原市長への新春訪問報告 —市民のためにも大学と堺市と企業の連携が重要に—

今年も1月19日（水）午前10時から約30分間、木原堺市長への表敬訪問が行われました。会場となった市長応接室は、旧市庁舎から今年4月に完成した新市庁舎に移り、一同新たな気持ちで会談に臨みました。

本コンソーシアムからは、南努理事長（大阪府立大学学長）、松浦道夫副理事長（桃山学院大学学長）、山田浩之副理事長（羽衣国際大学学長）、長谷川事務局長（桃山学院大学副学長）が訪問し、木原市長、木戸市長公室理事、宮脇企画部長、向井企画部副理事が同席されました。

南理事長は、年頭のご挨拶及び日頃のご支援に対するお礼を述べた後に、最初に言及されたのが、政令指定都市を目指す堺市に対してコンソーシアムが協力できることについてでした。第一に、堺市の小・中・高等学校教員の直接採用に関わる協力を挙げました。昨年12月には堺市教育委員会との意見交換会が行われ、今後協議会が発足予定であること、児童相談所の専門職員の採用などについても連携、協力できることなどです。第二に、これまで以上に拡大、充実が求められる堺市の情報発信について、今春に発刊を予定しているWeb新聞「サカイ経済新聞」が有効なツールになるものと確信している、と述べるなど、政令指定都市に向けた堺市の新体制作りにも貢献できることを強調しました。

また、昨年4月、事務局がさかい新事業創造センター

に入居したことにより、訪問者も増えていることや、同センターとの連携によって産官学地域連携が広がりを見せ始めていることなどが報告されました。

中でも、学生参加型の産官学地域連携事業である「学生クラブ・アクト」や「南大阪の歩き方」は、昨年11月に開催された全国コンソーシアム研究フォーラムでも大変注目を集めたことが、山田副理事長から報告されました。山田副理事長は、大会は多くの人が集まり大変な熱気で、今後もこうしたコンソーシアム活動は一層拡大していこうと感じた、と参加した感想を述べました。長谷川事務局長は、われわれの活動は大変ユニークで、全国から注目を浴びたことで少し自信を得ることができたと述べました。

木原市長は、また、基礎としての幼稚園、小学校、中学校、社会に出て行くためのステップとしての高校、大学と、それぞれが連携していくことが大事だと考えていると述べられました。それを受けた南理事長は、すでに推進している高大連携だけでなく、幼、小、中、高との連携の必要性について述べました。市長は、さらに産官学連携についても触れられ、市民のためにも大学と堺市と企業の連携がとても重要であり、今後もより一層連携を深めていきたいと抱負を語られました。

最後に、松浦副理事長が、大阪が元気になるために南大阪が引っ張っていくぐらいの気概でいきたいと語られると、会場は大いに元気づきました。

Look! ルック 関空

**国内路線が充実します
国内最大規模！関空の免税ブランド
ブティックがリニューアルオープン**

●関空連絡橋通行料が新しくなりました。

3月1日から、関空連絡橋の通行料が以下の通り改訂になりました。

- ・軽自動車 1,200円（平日・往復）
- ・普通車 1,500円など（平日・往復）

※土・日・祝は、軽自動車及び普通車に限り1,000円（往復）でご利用いただけます。

お休みの日はご家族やお友達と、関空へ遊びに来てください！

・お問い合わせ先：道路管理所 0724-55-2278

詳細についてはホームページをご覧ください。

→ <http://www.kansai-airport.or.jp/>

●国内路線が充実します 「関西⇄羽田」路線、大幅増便！

3/11、スカイマークエアラインズが就航

3月11日、関西国際空港に新たにスカイマークエアラインズが就航し、東京・羽田空港との路線を1日4便開設。これにより、関西⇄羽田路線はこれまでの1日14便から18便となり、総座席数も今までより約40%増えました。

また、従来のダイヤでは関西⇄羽田間でフライトのない昼間の空白時間が長くありましたが、最大でも2時間30分

と大幅に縮まり、早朝・深夜の便はもちろん、昼間も利用しやすく、便利になります。

●4/1より旭川・福島へ就航開始！札幌など増便も

4月1日より、新たに関西空港から旭川（1日1便）、福島（1日1便）への便が就航します。また、札幌へはこれまでの1日4便から8便へ、女満別・函館・宮崎・鹿児島へは1日1便から2便へとそれぞれ倍増します。これにより、関西空港からの国内線の就航都市は14都市・52便/日となります。

●国内最大規模！関空の免税ブランドブティックがリニューアルオープン

海外旅行の楽しみといえば、デューティーフリーショッピング。関西国際空港に、3つの新しいブランドブティック・サルヴァトーレ・フェラガモ、セリーヌ、モンブランが登場しました。また、今までのブティックも売場面積が2～4倍に広がり、装いも新たにリニューアルオープン！なかでも、人気のエルメスはアジアで最大級規模となります。

（ブランドブティックの売場面積としては成田空港、中部空港を抜いて国内最大規模！）出発前のひとときを、関西国際空港ブランドブティックでのお買い物でお楽しみ下さい。

<http://www.kansai-airport.or.jp/news/050209/050209.htm>



学生クラブアクト

が始まります!



「第1回アクト交流会」は学生や企業の熱気で盛況!



昨年11月19日(金)午後6時～9時に、さかい新事業創造センター多目的会議室において、第1回アクト交流会が開催されました。アクト交流会は、起業、コミュニティ・ビジネス、ボランティア活動など、様々な活動

に興味のある意欲的な学生と、企業、地域、行政の方々とのマッチングを行う場です。当日は、学生31名に、企業、行政、大学などからは27名が参加し、時間が過ぎるのも忘れて交流を楽しみました。

プログラム第1部の講演では、現役東北大学学生で(株)ドリームキャリア取締役でもある市川大樹さんが、本会の運営を担当した学生の心意気を感じて、普段は断っているという講演を引き受け

ていただきました。学生起業家役員ということで、学生たちにとっては大変刺激になったようです。

第2部は企業との商談会と交流会です。「プチ起業しま専科コーナー」では5つの企業から学生に向けたプチ起業の企画がプレゼンテーションされました。プレゼン後学生たちは、興味のある企業のブースで商談を積極的に行いました。続いて、学生側から企業へのアプローチとして「自己PRコーナー」を設け、得意分野をプレゼンテーションし、アピールを行いました。自己PRした学生には、企業だけでなく学生からの商談も行われていました。商談会や交流があちこちで熱く繰り広げられ、終了時間が大幅にオーバーするほどでした。いろいろな課題も見つかりましたが、学生と企業との交流会は、初めの一歩として成功裡に終わりました。今回参加できなかった皆様、次回の交流会には積極的な参加を期待しています! 面白い出会いがきっとあるはず!

❖ エコリサイクル社会研究

プール学院大学 国際文化学部国際文化学科4回生 寺師 誠騎
指導:プール学院大学 西道 実・大阪女子大学 藤田 正



今年度のクラブアクト事業で、「リサイクルシステムの構築に関する調査研究」を行いました。具体的な内容は「堺にリサイクル拠点をつくるにはどうしたらよ

いか」というテーマのもとで、日本の各地にあるリサイクルセンターの先進事例やリサイクルの事例をメンバーと手分けして調査し、それらの現状をふまえて、堺市におけるリサイクルセンターの構想を立案していくというものです。メンバーはプール学院大学と大阪女子大学の共同チーム8名です。調査活動や構想の立案はプール学院大学の西道実先生と大阪女子大学の藤田正先生の指導を仰ぎ、クラブというよりはゼミ形式で調査・研究を進めていきました。

今回の活動は、私にとって初めての経験ばかりで、迷うことも、失敗することも多く、特に、取材先でのヒアリングには難しさを実感しました。本格的な研究活動に当たるのは初めてでしたが、各地でリサイクル活動に関わる人々の生き生きとした姿が強く印象に残っています。

❖ 年長児と乳幼児交流調査分析

帝塚山学院大学 人間科学研究科

指導:西川 隆蔵

高校生、中学生の生徒と幼児との交流体験の効果を検討することを目的としたもので、今回は交流をもった高校生、中学生の意識変化、幼児の行動変化、また関わった教員や保護者の意識の変化などを調査の対象としました。結果として、顕著であったのは、参加した高校の生徒の中でも、自尊感情が低い生徒の自尊感情を高めるという形で影響を与えたことが示唆されたことでした。しかし、児童館での中学生の結果には、交流体験と自尊心得点との間に何ら関係がみられず、交流体験の頻度も含めた活動内容、あるいは質に大きな違いがあったと言えます。

今回、この調査研究に参加して、高校生と園児という年齢差はあっても、青年たちが主体的に園児に働きかけ、園児から受け入れられるという体験を通して、自ら主体的に他者に働きかける喜びを知り、自分の存在感を高めていく様子を、実感としてつかめたように思います。



❖ チャレンジショップ、オープン!

帝塚山学院大学 チャレンジショップ支援スタッフ一同



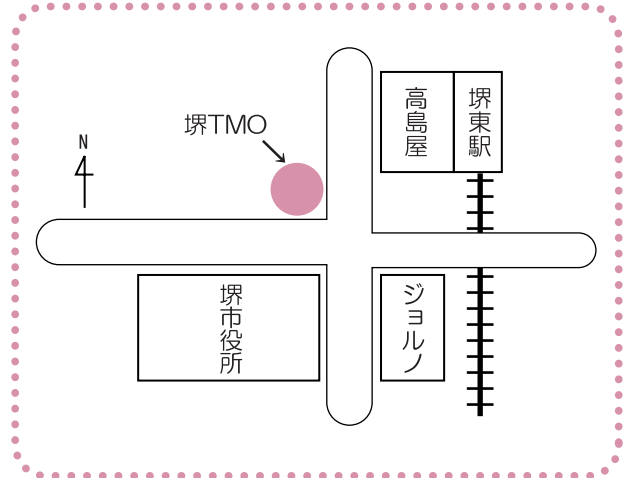
堺TMO(堺商工会議所)から委託された学生クラブアクト事業に参加しています。空き店舗を活用して商業活性化、創業支援、集客をテーマに堺

東駅前空き店舗の利用の仕方や街づくりのための企画などの提案のために委託された事業です。実際には空き店舗を利用して開店されたチャレンジショップのビル運営管理をしながら、ショップの店主さんたちとビルへの集客を考えたり、貸室利用に関してのアイデアを出したりしています。

一度、堺東駅前のチャレンジショップに立ち寄ってください。個性豊かなお店がいっぱい。どこにもないあなただけの素敵なモノが見つかります。

営業時間:11:00~19:00(月曜日定休日)

電話番号:072-238-5761



❖ 観光地評価指標づくり

羽衣国際大学 産業社会学部
観光レジャーコース



指導:岡本 義温・小川 雅司



多くの都市が今日、その中心部が衰退する危機に見舞われ、堺市も例外ではありません。今回の調査研究では、堺市の中心部(環濠部分を中心とした旧市街地)

にある豊富な「文化・観光資源」を様々な角度から調査し、観光ビジターを増加させるために解決しなければならない課題や問題点を検証しました。具体的には、半年間にわたり現地調査と大阪・神戸などの都市住民へのアンケート調査やヒアリングなどを行い、その後、得られたデータを基にして「文化・観光資源」を評価する指標の作成と客観的評価を行ないました。今後は、最後にまとめた来堺ビジターの増加のための政策提言が実行に移され、堺市の観光の振興が進むことを大いに期待しています。

【学生チームの感想】

観光の勉強や研究を重ねてきたとはいえ、大学の地元である堺市の文化・観光資源については、灯台下暗しの例えのように、私たちもほとんど無知であったが、今回の調査に参加し、また他の地域の人々の堺への評価を直接聞く機会もあって、あらためて都市の観光資源はいかにあるべきかを考える良い体験ができたと思います。

❖ サカイ経済新聞スタート!

桃山学院大学 経済学部経済学科2 回生 杉 宏高



大阪・堺市及び広域にわたる南大阪エリアは、高度経済成長期に重厚長大企業が栄えました。その後は閑空のお膝元として注目を集めているにも関わらず、現実には依然として地盤沈下が進む関西経済を象徴するような状況が続いています。

変貌を図る広域サカイを舞台にヒト・コト・カネが展開し、実質的に充実して機能していく—そういった部分に私たち学生がフォーカスし、サカイに住む全ての人を対象に、マーケティングの視点からWebを中心としたさまざまなメディアでの展開を図ります。シブヤ・ヨコハマ(発行済)ウメダ・ナゴヤ・キタキューシュウ(準備中)の各メディアと連携した、各種展開を行います。

【感想】

サカイ経済新聞を作ることになり、自分自身がサカイについて何も知らないということに気づきました。初めて人を束ねることになり、今までとは違う経験をしています。例えばメンバーを集め、スケジュールを管理するなどさまざまなことです。これらの経験が将来の僕の土台になると信じています。

阪堺沿線地域を歩き、刃物製作を体験して

羽衣国際大学産業社会学部 杉本 愛・堀 沙矢香・中尾 嶺

阪堺電車の沿線地域には、たくさんの地域・観光資源があります。が、1つ1つの魅力はそう大きいとは言えません。そして、「歩き方」を1つの「小旅行」と捉え、ストーリー性を重視して下さい、という小川先生の指導(いや命令!?)を厳守した「歩き方(=モデルコース)」を作ることには、大変苦労しました。

今まで興味はありましたが、歩くまでに至らなかった沿線地域を実際に歩いてみて、自分の知らなかったことを多く知ることができました。落ち着いていて、いつもと違う非日常的な雰囲気のところがたくさんあり、路面電車特有のゆったり感も味わえる空間であることがわかりました。また、伝統産業である「刃物」の製作を体験し、その難しさと神秘さに苦労・感動しました。おやつに食べた和菓子も伝統があるだけでなく、オリジナリティもあって・・・沿線地域の資源をもっと宣伝すれば、虜になる人がきっと増えるだろうと感じました。

その反面、沿線地域に活気が少ないことは否めません。これからはより一層、沿線のまちづくりに力をいれる必要がありますが、まちづくりをしていく上で一部の人だけが携わるのではなく、地域の若い人の力を借りることが必要だと思いました。

このように、題材が身近で特に興味が湧いたためでもあります

が、楽しく歩いて、真剣に地域のことを考えることができました。まちを歩き、モデルコースを作り、そして、ならばパークスでの発表と、とてもとても大変でしたが、やりがいのあるプロジェクトで、楽しい思い出となりました。そして、またこのような機会がありましたら、是非、参加したいと思っています。



それでは、私たちの提案したコースで堺・阪堺電車沿線地域を歩き、楽しんで下さい。

和む街を歩いて

産業社会学部観光レジャーコース 福地 由江



想像すると心が和んでくるような街です。

私たち羽衣国際大学の「高石の歩き方」調査チームは、大阪湾に面する高石ベイエリア地区

のまだ発見されていない魅力を探し出すため、高石の街を歩きました。高石市と本学は目と鼻の先です。調査に参加するメンバーの中には日頃から高石になじみの深い学生もあり、思い出話が飛び交うなど比較的軽やかなリズムで始まったように感じます。

しかし、良い観光素材をできるだけ見つけ出そうと意気込んでいたのですが、前もって注目していた寺社や仏閣は特に私たちのイメージしていた空間とはいい難く、調査の途中で落胆してしまうこともしばしばありました。それでも、きっと高石にも素敵なスポットがあるはずだと歩くことを止めませんでした。地域住民の人から積極的にお話を伺う



などの努力を重ねるうちに、上品で優しい女性店主が経営する喫茶店&ギャラリー、気さくに話を聞かせてくれた洋食屋さんのご主人、趣

味の良さがうかがえるショットバーのマスターなど、数多くの人々との出会いもあり、予期せぬ人とのふれあいが私たちの調査に対する意欲をかきたててくれました。

海のそばの小さな高石の街の中で、街を愛し、人を想い、ゆったりと生活している人たち・・・これは私たち学生にとっても羨ましく、素敵だと感じさせられるばかりでした。

このような優しい地域の人たちのおかげもあって、私たち調査チームは小さいながらもロマンチックで素敵な旅『高石の歩き方』を完成することができました。関西近郊に住むおしゃれなご婦人の方々には、ぜひ一度高石の街にお越しになり、そして、心から和む街を歩いていただきたいと思



高石の歩き方―高石ベイエリア地区
指導教員：岡本 義温 教授・小川 雅司 講師

羽衣国際大学

全国大学コンソーシアム協議会への参加と全国フォーラムの報告

昨年11月27日(土)・28日(日)の2日間、全国コンソーシアム研究交流フォーラムが京都キャンパスプラザで開催されました。本コンソーシアムは、パネル展示及び、「産官学連携」の分科会で「学生参加型産官学連携事業の事例について」発表を行いました。分科会では、石井事務局長(大阪府立大学副学長)が「学生クラブ・アクト」「南大阪の歩き方」について事例報告され、大変注目を集めました。28日には全国コンソーシアム協議会の発足会があり、

本コンソーシアムも協議会へ参加することになりました。今後はこの協議会が全国のコンソーシアム活動の情報交換や相互理解を深める場になっていくことで、コンソーシアム活動がますます認知され広がっていくことでしょう。



第二回高等教育研究会「大学経営における民間的経営手法の導入」開催の報告

平成16年12月4日(土)、さかい新事業創造センターにて、第二回高等教育研究会(共催:西宮市大学交流協議会)を行いました。第一回研究会の「産学連携」に続き、今回は「大学経営」がテーマでした。前回同様、各方面から強い関心が寄せられ、参加者からの質疑応答も交えて、活発に議論が行われました。

(株)サンリット産業取締役社長 大阪商工会議所副会頭 小池俊二氏の「経営者の心得10か条—大学経営における民間経営手法の導入—」では、グローバル化、イノベーション、マーケットイン、この三つの潮流に乗れるかどうか大学が将来を決めていくとして、そのためには、①経営理念②行動指針③破旧立新・・・等、10か条が大切であると、50年のご自身の会社経験より言及されました。

和歌山大学監事・小畑力人氏の「学生の目線で大学改革—CS(カスタマー・サティスファクション)の大学におけるSS(学生満足度)の課題—」では、大学を取り巻く現状は、大競争から弱肉強食の時代へ、また、国際競争の時代を迎えているが、競争に勝つには、学生サービスの徹底と顧客満足度に徹した大学の運営、教育の創造等、専門学校、塾、予備校の民間的手法に着目することが大事であると示されました。入り口(入試)・中身(研究と教育)・出口(就職)という「三位一体の展開」をすることにより、オンリーワン作戦で、和歌山大学を特色を持つ大学にしていくとの抱負を述べられました。最後に、教員と職員の教務協力が改革の重要な課題であると締めくくられました。

「友の会」愛称決定!

「南大阪地域講座」をますます充実したものにいくために、「南大阪地域講座友の会」を設立し、今年度より会員を募集しています。

「友の会」では、皆様に学びをより身近に感じていただき、親しんでいただけるよう「友の会の愛称」を募集していましたが、多数のご応募の中から、「MOM(もん)」に決定しました。MOMの愛称とキャラクターが長く愛さ

れることを願っています。

■MOM(もん)

- M—MINAMI(みなみ)
- O—OSAKA(おおさか)
- M—MANABI(まなび)

の略で、これからも成長し続ける「おたまじゃくし」を表現しています。

お申込・お問い合わせ:

南大阪地域大学コンソーシアム事務局まで



会員を募集しています!

南大阪地域大学コンソーシアムの会員になりませんか?本コンソーシアムは、南大阪地域の大学や大学関係者の皆さまの参画により運営されています。大学相互の連携や地域社会の発展に向けた事業に参画・協力ください。

会員区分:団体会員(年会費20万円~50万円)

個人会員(年会費1万円)

賛助会員(年会費1口5万円から)



関西国際空港(株)は南大阪地域大学コンソーシアムの運営を支援しています。

このマークのついたニュースレターを関西空港にご持参いただくと、割引引きなどの特典があります。

編 ☆ 集 ☆ 後 ☆ 記

☆怒涛の1年が終わり、ほっと一息……。今月より、事務局メンバーが増えました!皆様に喜ばれるコンソを目指して、力をあわせて頑張ります。(あ)☆春は、別れと出会いの季節です。それぞれのライフステージにも、仕事にも、勉強にも、別れと出会いはつきものです。よりよい出会いのために、グッド・ラック!(う)☆気がつけば、この3年間で培ってきた土台が少しずつ力をつけているのを実感。学生がどんどん参加することで一段の飛躍を期待したい!(ん)

特定非営利活動法人 南大阪地域大学コンソーシアム

ニュースレター第7号(2005年3月31日発行)

発行:特定非営利活動法人 南大阪地域大学コンソーシアム事務局

〒591-8025 堺市長曾根町130-42 さかい新事業創造センター1階

TEL&FAX (072)258-7646

Eメール office@osaka-unicon.org

ホームページ <http://www.osaka-unicon.org>